

第9号

2006年9月20日

発行

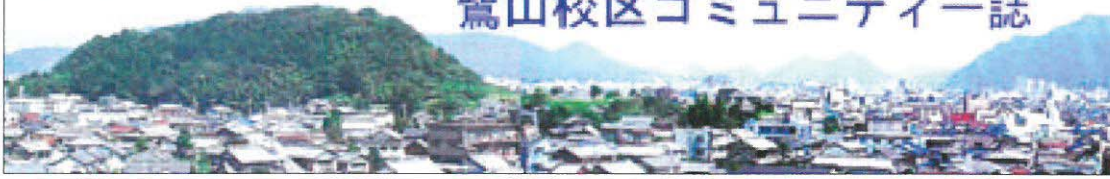
鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

# ふれあい鷺山

## 鷺山校区コミュニティ誌



本誌は自治会加入世帯全戸へ配布しております



夏祭りテーマ塔 大行灯

### 行事・催事



● 校区市民大運動会

10月8日(日) 鷺山小学校庭

● ふれあいいきいきサロン

10月21日(土)若水町公民館

24日(火)緑ヶ丘公民館

28日(土)清洲町公民館

11月7日(火)正木公民館

未定 鷺山自治公民館

● 校区文化祭 11月5日(日)

鷺山小体育館

● クリーンシティぎふの日

清掃活動 11月19日(日)

● 親子ふれあい教室

10月12・24・11月16日

鷺山公民館(0~1歳児対象)

● 校区子どもフェスティバル

11月3日(祝) 鷺山小学校庭

● 校区ふるさとふれあいレクリエーション 11月19日校庭

市民福祉大会 9月27日

市文化センター

● 住民自治推進大会 10月

2日 市文化センター

● ぎふ信長まつり 10月7・

8日(土・日)中心市街地

◎ 特別展「道三から信長へ」

11月2日~12月10日

岐阜市歴史博物館

地域のみんなで子どもを見守ろう

# 地震・水害 もしもの備えに 9月3日 各地域で防災訓練

鷺山自治会連合会で組織する自主防災隊本部は鷺山小学校校庭に設置され、午前7時無線放送で防災訓練開始と参加を呼びかけました。各地区隊と携帯無線で連絡をとりあい情報伝達訓練に入りました。



正木地区では、正木地区隊本部を正木公民館に

設置され、本年も地区15の自治会ごとに地域に合った発災対応型訓練計画を策定し実施しました。

正木公園、正木中公園、ジャスコ駐車場など各緊急避難場所に集合し、水消火



北地区の訓練

器やバケツリレーによる放水などの初期消火訓練、模擬倒壊家屋な



正木公園で救出救護訓練、心肺機能蘇生訓練等を行いました。

田公園に設置され、本部との連絡を行いました。

17町内が12支部に分かれ、緊急避難場所避難訓練、初期消火訓練、模擬倒壊家屋からの救出訓練などが行われました。

草平町の草の実広場では、ハイゼックスによる炊き出し訓練が行われました。



清洲地区、古川地区とも簡易保険グラウンドにそれぞれ地区隊本部が設置されました。

清洲地区は、各自治会の緊



煙体験装置

急避難場所から避難誘導訓練を行いながら、簡易保険グラウンドに移動、初期消火訓練、応急救護訓練、煙体験装置を使った訓練を行いました。

古川地区は各避難場所避難人員リストを作り、初期消火訓練、三角巾等による応急救護訓練を行い簡易保険グラウンドに移動、模擬倒壊家屋からの救出訓練、心肺機能蘇生訓練、煙体験装置による訓練を行いました。



緑ヶ丘公民館で

訓練を行いました。地区隊本部の緑ヶ丘地区公民館では、三角巾操

作方法や、地元医師による心肺蘇生法訓練を教わりました。屋内のためじっくり習得できたとのことでした。



校庭で炊き出し訓練

本部の校庭では、給水給食部員、日赤奉仕団員によりハイゼックスを使った炊き出し訓練が行なわれました。校庭には地震体験車も準備され、321人が参加しました。



地震体験車

## 古川地区で「災害図上訓練(DIG)」

古川地区自主防災隊では、防災訓練の一週前の8月27日若水公民館で、地区10自治会の防災隊員と関係者が防災会議を開き、その中で「災害図上訓練」を行いました。

略称DIGとは、災害想像力ゲームと訳され、地域の人たちが参加し、町内の地図上で防災上の問題点を洗い出し、災害発生時の想定で、参加者全員でイメージトレーニングするものです。避難通路の安全性、家屋の耐火度、消火栓・消火器の確認等で地域の安全度を推測するものです。



町内図をチェック

みんなであつくる安心・安全・活刀あふれるまち さぎやま

### 夏祭りをかえりみて

#### 夕立で涼しい夜に 無事終了

夏祭りの一週前から鷺山

本通り一帯に飾り付けられた行灯まつりは、昨夏を倍増した二百余灯となり好評でした。絵を描いたお子さん、お孫さんとおじいちゃん、おばあちゃん、親御さんと一緒に楽しんでいただ



いた方が多く見られ、三代目交流の夏祭りがまず出ましまし

た。

当初不安視された一大イベントが「来年もぜひ」という期待意見を多く得て、無事終了でき、関係者の多大な労苦が報われ、大変よかったです。

一方、通行規制等にかかわる件は徹底不足(連絡不足、ガードマンの対応不足)等反省課題も多かった。

大勢のスタッフが広範囲に活動し、地域住民および近隣から多く参加する行事は、決定事項を安易に変更することは、例えよいと思



白鷺町の通行止め

うことでもトラブルの要因となり、慎重を要することを感じました。

全体としては、大変よかったですと受け止めて頂いていますが、歩行者天国等による通行規制の区間と時間を検討する、開催曜日、他催事との時期の問題、関係者にパワーと時間を強いたことや予算等をよく検討し、来以降も継続できるように考えたいと思います。(S・K)

### 鷺山夏祭り大会 開催ご協力に感謝

今回開催いたしました「鷺山夏祭り大会」には、校区民のみなさま方のご協力をいただきまして、無事終了でき、誠にありがとうございました。

開催に際しましては、鷺山本通りを通行止めにする事等により近隣の住民、商店街のみなさま方にはご不便をおかけし申し訳あり

ませんでした。

パレード開催前後に激しい夕立があり心配されましたが、再開とともにたくさんのおみなさんに参加いただき、三代目交流の夏祭りを企画しました主催者として

安堵、感謝いたしております。祭りを盛り上げようと参加いただいた多くのおみなさ

ま、会場、駐車場をお貸しいただいたみなさま方に御礼申し上げます。

校区の協力団体、商店街、各自治会長のみなさんのご尽力、ご協力ありがとうございました。

平成18年8月

鷺山自治会 連合会  
鷺山まちづくり協議会  
鷺山夏祭り大会実行委員会

### 生のお囃子・音頭取が好評

#### 恒例 清洲町盆踊り大会

清洲町公民館前広場で、8月13・14日の両日、近年にない盛況で多くの方の参加を得て、清洲町盆踊り大会を盛大に開催しました。

当地の盆踊りは生の唄と生のお囃子で踊れることで、各地域から注目を浴びています。

来年は30回を迎え、より一層楽しめる盆踊り大会開



29回を迎えた清洲町盆踊り 清洲町公民館前で

催しに向け、ご支援とご協力をお願いいたします。(藤江)

### 夏祭りに関するアンケート結果の概略

本誌で行った関係者45人のアンケート結果です。数字は票数です。無回答、その他は除きました。

- A 開催してよかった 38  
まちの活性化に貢献。鷺山が生まれ変わったようでした。若いも若きも一つになれた。

B やらない方がよかった 2 労多く効少なし。

C どちらでも 5 予算、規模が課題
- 本通り通行止め A よかった 31 B 悪い 4

開催時期 A お盆の頃 24 B 夏の終り頃 10

開催曜日 A 土曜日 28 B 日曜日 10

開催場所 A 本通り 26 B 小学校 8

開催は A 毎年 21 B 2・3年おき 11 C やめる 4
- ご意見

夜店を増やす 6 少々暗かった。

二会場を近くに。子ども遊び場少し大きく。

通行止めの徹底。小競り合いあり。地元へのコンセンサス。

オープニングパレードは子供達とても楽しそうでした。

盆踊り会場 段差で苦勞。子供に作るイベントよかった。

地域の人と知合えてよかった。長良・黒野からも



がくぎ第二 中部学院とぞく幼稚園児



WA 楽よさこい鳴子踊り



盆踊り会場

「よかった。雨だけが残念だったが、歩行者天国、安気にゆつくり歩いてよかったです。子どものよさこいパレードもよかった。  
露店をもっと増やして、路上で休憩できるイスとテーブルがほしかった。来年もやってほしい。楽しみにしています」(70代女性)



郡上踊り さわぎ会 櫓

この頁はみなさんの声を集めました

### よかった！ 来年も楽しみ



「鷺山はバスも止めて、すごいことやったんだね。よくやった！」(50代女性)

「日曜日の方がよい。メイソン会場と盆踊り会場を近くに」(30代女性)



「いっぱい店が出て楽しかった。行灯に絵を描いて楽しかった。道で遊べて嬉しい、一輪車やローラースケートもしてみたい。来年もやってほしい」(小学女児)



「夏祭り！いいねエ。大いに結構。これからもずっとやって欲しいねエ」(60代男性)



町で見た 児童のポスター

「事故もなく無事に終わって何より。来年もやるでしょう」(40代女性)



「歩行者天国もいいが、みこしパレードとか仮装行列とか車道で出来るものをしたい。学校の校庭でも周りにたくさん露店があれば、安全で楽しい。露店には大きな看板、会場の地図やスケジュール表がほしかった。  
通行規制の時間が乱れ、最終もバトカーで確実にやってほしい。来年もやってほしい」(40代男性)



県岐商マーチングバンド



ミニバトンサークル

# 鷺山夏祭り大会



「何も無い所からの出発で、こーんなに盛大にできたなんて、感激やわ。それだけ陰の苦労もあったんでしょう」(50代女性)



野々田万照さん



野々田ブラザーズ

オージ・ウスイ



しみず真知子さん

「大いに盛り上がりつつ、成功したんじゃないですか。よくやったねえ」(70代女性)

## 集った 楽しんだ 1万人 鷺山夏祭り大会



鷺山SUN山よさこい踊り



鷺山小児童の校歌ダンス



「子どものヨサコイ踊り、よく揃ったね。楽しかったよ。またやりたい、かっこよかった」(30?代女性)



細江市長も来場 挨拶は夕立でお流れ

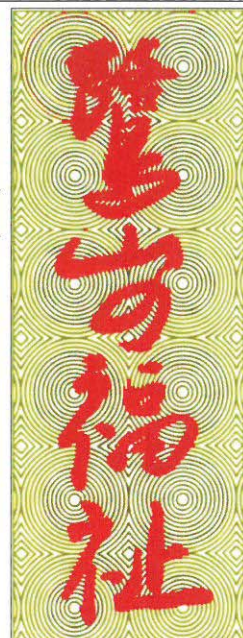
「家の前の本通りが歩行者天国になったのはすごいことだと思っ。うれしかった。露店が安くてうまかった。食べ物屋さんをもっと増やしてほしい。またあつたら、また友達と行きたい。よかった」(中1男子)

終わってみれば「よかった」ただし「区間も時間も短く」との声でした。

歩行者天国のための本通りの通行止めについて、「交通規制は生活に非常に影響が出る。交通規制を自治会で勝手に決めないでほしい」(50代男性)  
「回覧板が回ってきただけで、どのように歩行者天国にすることになったの分からない」(40代男性)  
「交通規制をもう少し緩やかにしてほしい」(30代女性)  
3回にわたり趣旨書・お願いの文書が配布されましたが、どれもよく読まれていないようで、徹底不足だったようです。



子ども会育成会の駄菓子店



第21号  
発行  
社福協鷺山支部  
☎231-0040

# 男の料理教室

## からだを元気にする長寿食 男子厨房に入って料理を楽しむ!

地域の長、吉村鷺山小学校校長の挨拶。その後今日のレシピについての説明があり、いよいよ調理へ。

康作りの一環として発足した「食生活改善推進協議会鷺山支部」も二年目を迎えました。今年度の第一回目の活動は、夏休み入りの7月22日(土)に鷺山小学校家庭科教室で、男性参加者35名と同協議会の女性スタッフ10名の計45名で行いました。



まず全員でストレッチをして、乾鷺山自治会連合会

「からだを元気にする長寿食」じゃことひじきの混ぜご飯、貝だくさんのお味噌汁、チーズ豆腐ステーキ、胡瓜とわかめの酢の物の4品です。材料を切ったり、味付け、段取りなど各テーブルとも調理に奮闘、ワイワイガヤガヤと賑やかに進行しました。

その後全員で試食。「おいしいー」「上手に出来た」「盛り付けが少し下手だった」等の声も。試食後の反省会では「段取りが大変」「いちよう切



鷺山小家庭科教室で  
りが難  
しかつ  
た「味  
付けが  
いまい  
ち」等  
のさま  
ざまな  
感想が  
出まし



出来上りの4品

又、今後については「中華料理を作ってみたい」「酒の肴になる料理を」等の活発な意見が飛び交い、冷房もない真夏の昼時でしたが、暑さも忘れ、和やかなムードで教室は終了しました。(河合輝久)

## 子ども会育成会

第2回「男の料理教室」(骨粗鬆症を予防しよう)は、9月22日に北市民健康センター調理室にて開催します。



## 畑作業に奮闘!

この春から、子ども会育成会ではJA鷺山の北側にある畑で、野菜作りに挑戦しています。



植え、草むしりをして育て上げた野菜は、いつもとは違う喜びを子ども達みんなに分け与えています。これから秋にむけては、6月に苗を植えたサツマイモがどんどん大きくなります。秋にはみんなが収穫の秋を実感していることでしょう。(平田)

## 体育振興会&子ども会育成会



## 早朝ラジオ体操

7月15日(土)午前6時半、体育振興会と子ども会育成会によるラジオ体操が鷺山小学校校庭にて行われ、当日は子ども450人、大人150人、総勢600人もの皆さんが校庭に集合しました。参加者は、一つ一つの体操について丁寧に指導してもらいながら、元気いっぱいラジオ体操を行いました。



ラジオ体操終了後は、青少年育成市民会議と青山中VSサークルによる鷺山登り&挨拶運動も行われ、皆で鷺山へ向かいました。日頃なかなか行わない早朝からの運動ですが、よい目覚めになったのではないのでしょうか!(平田)

# 親子料理教室

## 親子で一緒に作れる 簡単な料理に挑戦!

毎年行われている夏休み親子料理教室を、7月21日(金)に鷺山小学校家庭科教室で、児童28名とその親16名、スタッフ7名、合わせて51名で行いました。



これは、社会福祉協議会鷺山支部、食生活改善推進協議会鷺山支部及び鷺山小PTA主催に加え、森永乳業の協賛を得ました。

今回は、「カルシウム」を多く摂れる食事がテーマで、食べ盛り・成長期にある、カルシウムの欠かせない小学生の家庭を対象に、彩り野菜のドライカレー・クリーミーポテトサラダ・ふるふるヨーグルトゼリー

の3種類を完成させました。材料にはスキムミルク・牛乳・クリーミングパウダー・練乳・ヨーグルトなどの乳製品を使用しました。野菜の切り方や、調理の順番など丁寧に教えてもらいながら、皆で楽しんで料理を作ることができました。

どれも好評でしたので、また休日には時間をとり、親子でふれあい、料理づくりをして頂けたら嬉しく思います。(森田佐津子)



鷺山小家庭科教室で

## 介護予防のために これからの健康づくり、生きがいつくり

### 健康講座



酒井先生  
「健康講座」を開きました。

健康で充実した生活を送っていただくために、社会福祉協議会鷺山支部は

鷺山公民館と共催し、

9月9日(土)鷺山公民館において、地域包括支援センター北部の酒井恭子先生を招いて

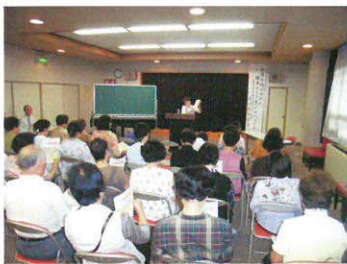
「健康講座」を開きました。鷺山地区は、総人口10,240人中65才以上の方が2,595人(25%強)、岐阜市の50地区中14番目に高齢率が高いのです。いつまでも元気でいるためにはどうして

いったらいいのでしょうか? 介護予防という視点から、第一に、自分でできる事はできる限り自分で行いましょう。「毎日の食事作り」は介護予防できる究極のリハビリです。何を食べようかなあと献立を考え、買い物に行く。お金を支払い、おつりを確認する。段取りを考え、二つのおかずを同時に作る。味見をする。においを嗅ぐ...

第二に、元気で暮らしていけるように、生活の中に目標を持ちましょう。生活の中に腹式呼吸や筋肉を意識した運動を取り入れましょう。自分のペースで。例えばテレビでのラジオ体操を行う。老若男女を問わず、公園や公民館で集まり身体を動かす、楽しいおしゃべりをする...

そんな集いがあちこちで行われていたら、ひとりひとりに宿った元気が地域での元気に大きくふくらむことでしょう。

今、岐阜市が勧めている



鷺山公民館で



みんなで筋トレ体操

高齢者向けの体操「筋トレ」を伊佐治さんと筋トレサポーターさんの指導で行いました。動ける身体を保ち、自立した生活を送るためにも筋トレをお家でも続けてほしいとのことでした。

受講を終えられた総勢57名の皆さんの笑顔の奥に、これからを元気で楽しく生きようという力強さを感じました。

**いきいき筋トレ体操**

いつまでもいきいきと生活していくためには、動く身体を確保し、自立した生活を営むことが大切です。そのためには「筋トレ」が効果的であることが分かってきました。いきいき筋トレ体操は、筋力の低下を予防する効果があります。是非、今日から筋トレ体操を続けましょう!

●指導者 伊佐治 先生  
岐阜県立総合医療センター 介護福祉部 介護福祉士 伊佐治 先生  
●サポーター 伊佐治 先生  
岐阜県立総合医療センター 介護福祉部 介護福祉士 伊佐治 先生  
●協力者 伊佐治 先生  
岐阜県立総合医療センター 介護福祉部 介護福祉士 伊佐治 先生

監修/岐阜県立総合医療センター 伊佐治 先生



神輿が担ぎ出され、8月の盆踊り、左義長など町内

戦後、昭和23・24年に整備された市営住宅が今の若水町の始まりです。  
西は月見町、東は白鷺町、西古川町と接し、南の正木川沿いに若水公園があります。  
自治会は西・北・南の3自治会が連合し、世帯数は93世帯ですが、高齢者の世帯も多く、敬老者は57名を数えます。  
毎年4月の道三祭りには



若水町公民館は、「人々の集る場所を」の願いで、「鷺の湯」東隣り市有地の特別払下げを受け、若水町民が月

### 若水町公民館の巻



自治公民館のご案内⑦

行事も多く、義理人情に厚い町内です。  
若水町の活性の源は若水会でしょう。昭和54年6月に発足した若水会は、若水町を中心にした親睦団体であり、地域のボランティア・自治会のサポートなどの活動を行っています。  
主な活動は、春の神輿・若水町盆踊り・花植え・総会等ですが、発足以来27年間、地域のコミュニケーションと親睦活動に力を入れて活動しています。年一回の親睦旅行も行っており会員の楽しみの一つとなっています。  
年齢層は20代〜70代と幅広く、各自の持てる力を存分に発揮し、活動しています。会員数は現在34名ですが、随時会員を募集しています。若水町近隣で当会の主旨にご賛同頂ける方は是非、若水会に入会頂きたいと思えます。  
(大木)



春の祭り 昼の子どもみこし

館内には20数年間のイベントの写真が飾られ、昔を偲ぶふれあいの場ともなっています。  
(S・K)

千円を3年間積立て、昭和53年に建てられました。  
当公民館は自治会の中核場所であり、老人クラブ(若水会)をはじめとするクラブ活動など町民活動の中心で、各イベントが開催されています。

### 編集後記

今年の夏はことのほか暑かった。鷺山は夏祭りです。熱かった。一つことをみんなで力を合わせ、みんなで楽しむ機会ができ、お互い知り合うことが出来て良かったようです。いざという時、助け合えたらと…そんな願いをこめて⑦



今夏 8/5・6の若水町盆踊り

往古、長良川は現在の長良橋下流で三筋に分かれて流れていた。本流は古川といわれ、いまの早田校区を東西に貫流し、その北を古々川、南を井川が本流に沿って流れ、現在の鏡島付近で三筋はふたたび合流し、長良川一筋となつて、その下流は伊勢湾へ流入した。  
鷺山校区は古々川が流れていたが、一九三九年の締切り工事により同川は廃川となり、大きな中洲が出来た。戦後の住宅難解消のため、中洲に多くの市営住宅等が建築された。そこに住んだ人たちは、川に因んだ町名をつけてその由来を伝え、若水、玉川、古川、清洲等の新町名が生まれたのである。  
余談ながら、古々川の川幅は古記録によると「百間余」(約二百間)とあり、対岸とは渡船で結ばれていた。  
(加納 宏幸)

### 鷺山字名あざなめぐり

#### 中洲(洙)の町

校区のデータベースは 鷺山校区ポータルサイトで <http://sagiyama.main.jp/>